

富山県発明とくふう展内容説明書 (審査・展示用)

(第52回)

(1) 企業の部 (2) 一般の部

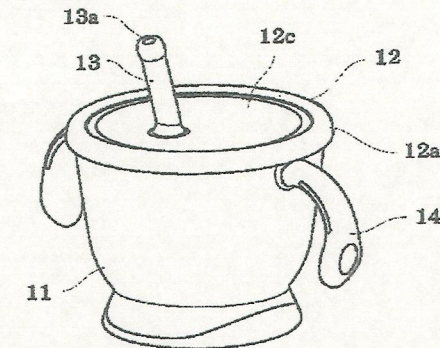
受付
番号

(企) 10

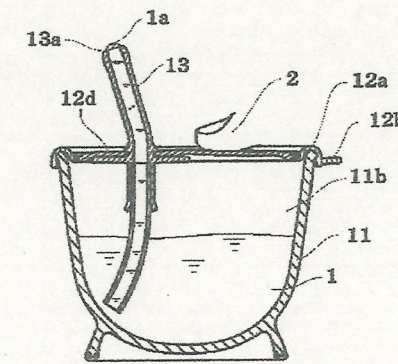
ふりがな	にゅうようじょういんりょうようき			
作品の名称	乳幼児用飲料容器			
ふりがな	(かぶ) リッチェル	ふりがな	まるたにあきこ・とうとうとおる	
会社名	(株)リッチェル	発明者名	丸谷明子・藤堂徹	
特許・実用・意匠 の出願状況	☐ 未出願 ☒ 出願済み	出願・公開番号 特開 2014-28650	登録番号	外国特許他
特徴と要点 (必ずご記入下さい)				
乳幼児が飲料をストローで吸い上げることを習得しやすいように、				
親等がサポートできる飲料容器。				
<発明の目的>				
幼児用ストローマグは、生後8か月くらいから使用するものが殆ど				
だが、もっと早い時期から使用したいというニーズがあった。				
一方、生後6か月程度の幼児は、「ストロー」＝「吸うと飲み物が出てくる」				
という、意識付けが出来ていないため、ストローを使用するのは容易なこと				
ではなかった。				
<構造特徴>				
①シール性のある弾性材を用いて、容器本体をシール出来る蓋体とした。				
②蓋体に押圧部をもうけ、「蓋を押すと、内部の飲料が出てくる」ことで、				
幼児に「ストロー」と「飲料の飲み口」との関連付けをさせやすくした。				
③弁構造を持つ通気口を備え、容器内にあたたかい飲料を入れた際の過度の				
内圧増加による内容物の噴出を防止する機能設け、意識付けのための機能				
との両立を図った。				

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。

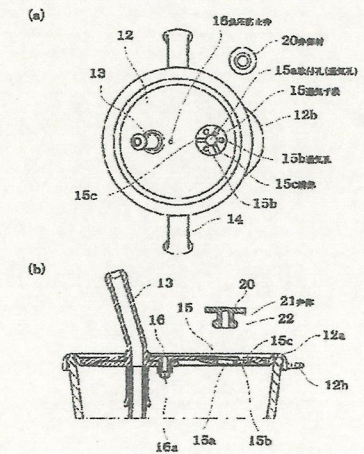
①シール性のある蓋体を有する飲料容器



②押圧部を有する蓋。蓋を押すと飲料が出る。



③過度な内圧を逃がす通気弁構造



「ストロートレーニング」から「コップのみ」まで一貫して使用できる飲料容器

成長に合わせて、ステップアップできるので、長く使えます！

STEP1
大人がサポート



STEP2
自分でストロー



STEP3
自分でコップ



倒れにくいすそ広がり脚部と取っ手に、すべりにくく握りやすい素材(エラストマー)を使用しました。



ハンドルは、赤ちゃんが持ちやすい形。内側のカーブがなだらかなので中の飲み物が勢いよく流れこみません。